

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設:市場川東線道路改良舗装工事)整備事業						
補助事業者名	津山市						
実施場所	津山市 大吉 地内						
補助事業の成果の目標	本路線は、道路舗装及び側溝が老朽化しているとともに、道路側溝に蓋が掛かっていることから、車両等の円滑な通行に支障をきたしているところである。 このため、本路線の道路側溝及び舗装工事を行うことにより、車両等の円滑な通行を確保することで、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	測量設計 一式 道路改良工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成28年度						
事業費及び交付金額		26年度 まで	27年度	28年度	29年度 予定	30年度 以降	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	20,450,020	3,979,800	4,547,000			28,976,820
	交付金額	20,448,000	3,979,000	4,547,000			28,974,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	用水路の確保に支障を来していた本用水路を改修したことにより、用水機能を向上させることができた。それにより、周辺農耕地における良好な農業用水の確保が可能となった。 また、地域住民へは工事看板に交付金事業である旨を記載したこと、広戸地区演習場対策委員会で説明し、地域住民への周知を各委員に依頼したことで、協力を円滑に得ることができ、竣工後広戸地区演習場対策委員会で地域住民の意見を各委員に報告してもらったところ、用水機能が向上されたことで、用水機能の向上に伴い、周辺農耕地における良好な農業用水の確保が可能となったことにより地						
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながらい維持管理を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (環境衛生施設:防犯灯整備工事)整備事業						
補助事業者名	津山市						
実施場所	津山市 市場ほか 地内						
補助事業の成果の目標	夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果す防犯灯について、老朽化が進みメンテナンス等の維持管理に係る支出が地元の負担となっていることから高効率・省エネルギーで長寿命な灯具の導入をすることで、地元の維持管理経費の負担を軽減し、地域住民の生活環境の改善を図ります。						
補助事業の内容	防犯灯の整備 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成28年度						
事業費及び交付金額		26年度 まで	27年度	28年度	29年度 予定	30年度 以降	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費		4,628,000	2,074,400			6,702,400
	交付金額		4,628,000	2,074,000			6,702,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民へは工事看板に交付金事業である旨を記載したこと、広戸地区演習場対策委員会で説明し、地域住民への周知を各委員に依頼したことで、協力を円滑に得ることができ、竣工後広戸地区演習場対策委員会で地域住民の意見を各委員に報告してもらったところ、地元の維持管理経費の負担を軽減し、地域住民の生活環境が改善されたとの評価であった。						
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設(産業の振興に寄与する施設:船尾用水路改修工事)整備事業						
補助事業者名	津山市						
実施場所	津山市 大岩 地内						
補助事業の成果の目標	本用水路は、大岩地区の農業用の用水路であるが、自然水路であり、漏水や越流が著しいため、周辺農耕地における良好な農業用水の確保に支障をきたしているところである。 このため、本用水路を改修することにより、安定した農業活動が行える環境を整えることで、周辺住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	測量設計 一式 水路改修工 一式						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成28年度						
事業費及び交付金額		26年度 まで	27年度	28年度	29年度 予定	30年度 以降	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	11,462,280	4,250,000	3,670,800			19,383,080
	交付金額	11,461,000	4,250,000	3,670,000			19,381,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	用水路の確保に支障を来していた本用水路を改修したことにより、用水機能を向上させることができた。それにより、周辺農耕地における良好な農業用水の確保が可能となった。 また、地域住民へは工事看板に交付金事業である旨を記載したこと、広戸地区演習場対策委員会で説明し、地域住民への周知を各委員に依頼したことで、協力を円滑に得ることができ、竣工後広戸地区演習場対策委員会で地域住民の意見を各委員に報告してもらったところ、用水機能が向上されたことで、用水機能の向上に伴い、周辺農耕地における良好な農業用水の確保が可能となったことにより地域住民の不安も解消され、生活環境が改善されたとの評価であった。						
事業の改善措置及び今後の対応	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること